

ずっと元気でおいでくれ!

人と人とのつながりは、人もまちも元気にします。誰もがいつまでも元気に暮らせる地域づくりを進める生活支援コーディネーター(SC)が見つけた「キラリと輝くつながり」をご紹介します!



何をしてるの?

週3回、内神自治会館で開催している「きずな会」は、いつ来ても帰っても自由。おしゃべりや囲碁、編み物など好きなことを楽しんでいます。また、加齢とともに買い物に困っているという地域の声を受け、きずな会が主体となり、地区社協と社会福祉法人かしの木の協力を得て、週1回「買い物シャトルバスきずな号」を運行しています。

SCの一押しポイント

地域行事から、最近姿を見かけないあの人のことまで、情報共有の場となっているきずな会。つながりがあるからこそ、気付いたご近所さんのちょっとした変化や気になることを放っておけない。自分たちが今できることを話し合い、新たな活動を起こすなど、思いやりと活気にあふれた地域です。



居心地のいい空間をみんなでつくっています



一人ひとりに丁寧に声を掛けます



買い物シャトルバスきずな号をきっかけに社会福祉法人とのつながりは、より強固に!



吉田真弓さん

山坂が多い地域だからこそ、家から一歩出るきっかけづくりを大切にしています。きずな会を知ってもらうためにイベントも開催。企画の際は、世話人一人ひとりが得意なことを担当しています。一人ではできないこと・地域だけでは解決が難しいことでも、協力し合うことで実現できることがたくさんあります。これからも日頃からのつながりを紡ぎながら活動していきたいと思っています。

